

国内の先進事例

福井県幼児教育支援プログラム

I 本県幼児教育の現状と課題

1 保育所・幼稚園における幼児教育

- ① 待機児童がない（3歳児以上はほぼ100%、2歳児未満の就園率も高い）。
- ② 保育所と幼稚園の交流が少ない。
- ③ 保育所・幼稚園と小学校が連携するための制度が未整備。

2 家庭における幼児教育

- ① 共働き世帯（保護者）が多く、園に依存する傾向。
- ② 家庭教育力の低下とともに、幼児の基本的生活習慣も不足。

3 幼児の生活

- ① 幼児は幼稚園等で過ごす時間が長い。
- ② 幼児同士で遊ぶ機会や野山・自然に触れる経験が少ない。

4 「福井型18年教育」に基づくこれからの幼児教育

- ① 「福井型18年教育」のスタート期に当たる幼児教育を推進
- ② 小学校教育の基盤となる規範意識や規則正しい生活習慣を習得

II 基本コンセプト

つながりの力で子どもたちに豊かな心、笑顔、希望を

推 進 期 間 平成25年度～平成29年度（5年間）

1 つながりの力

- ① 保育所・幼稚園と小学校とのつながり
保育所・幼稚園が課題や知識、経験を共有し、小学校へと円滑につなげていく
- ② 親と子のつながり
親子のつながりは、幼児の心身の発達・成長の基本

2 豊かな心、笑顔、希望

- ① 規範意識 集団生活を通して、幼児が人とのかかわりを深める中で、規範意識を培う
- ② 人間関係力 相手を思いやる気持ちを醸成し、感じる心を育む
- ③ 夢を育む力 目標を立ててチャレンジする意欲を高め、夢を育む力を伸ばす

Ⅲ 施策体系と推進体制

1 保育所と幼稚園の連携を強める

幼保連携推進プロジェクト

施策① 幼児教育キャリアアップシステム（仮称）の創設

施策② 先生応援隊（仮称）の創設

施策③ 先生による研究グループの設置

施策④ 幼児教育のリーダーの養成

施策⑤ 幼児教育講座の開催

幼児教育推進体制整備プロジェクト

施策⑥ より高いレベルの幼児教育を担うための体制強化

施策⑦ 保育所・幼稚園への巡回訪問

施策⑧ 幼児にとって楽しい園庭遊びの促進

2 保育所・幼稚園と小学校をつなげる

福井型保幼小接続システム

施策⑨ スタート・アプローチカリキュラムに基づく教育の推進

施策⑩ 個々の特性に対応した支援

3 家庭の幼児教育力を高める

親力向上プロジェクト

施策⑪ 親力アドバンスコース専業（一日保育体験）による幼児教育力の向上

施策⑫ 親力ステップアッププログラムの推進

施策⑬ 家庭教育の質を高めるアドバイザーの配置

孫育てプロジェクト

施策⑭ 孫育てガイダンスの実施

4 豊かな感性を伸ばす遊び・体験を促す

遊び活性化プロジェクト

施策⑮ 知育玩具（グッド・トイ）の普及

施策⑯ 興味・関心を引き出す加古里子絵本セレクションの普及

施策⑰ 童謡や唱歌を通じた家族のふれあい促進

施策⑱ 親子自然体験学習の推進

施策⑲ 幼児食育体験学習の推進

香川県高松市保育所・幼稚園への芸術士派遣事業

様々な芸術分野に高い知識を有するアーティストを「芸術士」として、保育所・こども園・幼稚園に派遣する、「芸術士派遣事業」を平成21年秋から実施しています。

市内の保育所・こども園・幼稚園で展開するこの事業は、自治体が独自に取り組む保育支援の事例としては初めての試みです。

芸術士は、週1日ペースで各施設に出向き、日々の保育の中で保育士・幼稚園教諭と連携しながら、子どもたちと絵画や造形など様々な表現活動をしています。

その中で芸術士は、子どもたちが自由に表現する手助け等を行い、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていけるよう、専門性を生かしたかかわりや助言を行っています。

毎年、活動報告展を開催し、児童と芸術士が、対話を深めながら創作活動を行う中で誕生した作品や、参加施設のドキュメント(写真・文章・映像などの記録)等を展示しています。また、報告展の内容等を冊子にまとめた活動報告書も作成しております。

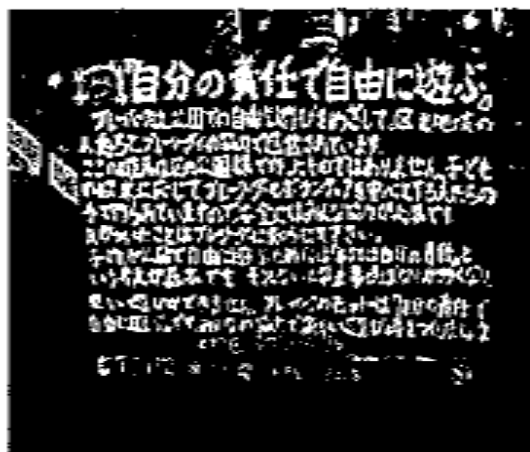
世田谷区「自分の責任で自由に遊ぶ」プレーパーク

プレーパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした遊び場です。子どもたちの好奇心を大切にして、自由にやりたいことができる遊び場を作ろうというもので、1940年(昭和15年)以降ヨーロッパを中心に広がった遊び場です。

屋外での自由な「遊び」を通して得られるさまざまな体験や交流を通して、子どもたちに自主性や主体性、社会性やコミュニケーション能力を育んでもらいたい。そんな願いが込められた遊び場です。

プレーパーク事業は、昭和54年、世田谷区の国際児童年記念事業として始まりました。開設当初から区と住民との協働による事業として実施しており、今なお先進的な取り組みとして全国的にも注目されています。

常駐のプレーリーダーや地域のボランティアの方たちのもとで、普通の公園ではなかなかすることができない焚き火や泥遊び、木登りなどをすることができます。



「自分の責任で自由に遊ぶ」がモットー



手作りの遊具で思い切り遊ぼう!

